

第二回

ここが見たい、
ここが知りたい
日・米一体の軍事再編



バスで行く首都圏基地ツアーに参加しませう。

日米の軍事再編のなかで、私たちが生活する街にある日米の軍事基地を自分の眼で確かめ、考え、市民どうしが反基地運動や反自衛隊運動そして反戦市民運動に繋げていくためのツアーです。奮って参加下さい。

第二回 12月10日(日)

集合 / 12月10日(日) 午前10時、

東武東上線(有楽町線直通)和光市駅下車南口

解散 / JR 青梅線福生駅(17時頃)

【主なコース】陸上自衛隊練馬駐屯基地(陸自広報センター見学) → 航空自衛隊入間基地 → 米軍横田基地

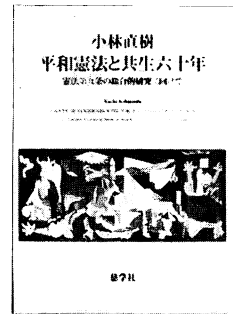
【見どころ】広報センターで陸上自衛隊の全体像を見ます。そして、日米軍事協力の目玉の「ミサイル防衛」のPAC3が配備予定の入間基地や日米共同統合運用調整所がつくられる横田基地です。実態を自分の眼で見ましょう。

◆参加費:3000円(バス代のみ、現地までの交通費含まず。弁当ご持参ください。)

◆申し込み方法:市民の意見30の会・東京に電話、FAXで。定員(30名)になり次第〆切らせていただきます。

【主催】市民の意見30の会・東京

電話&FAX 03-3423-0185



者としての憲法についての学問的分析や幾多の憲法裁判の判例検討のほかに、湾

イトルにあるとおり、半世紀以上にわたり平和憲法と「共生」してきた著者が、これまでにあらわした論考中、最も重要と思われるものを総合的にまとめた

岸戦争、イラク戦争での日本と憲法の問題から、最後には憲法に基づく積極平和政策や「国際貢献」論の考察にまでいたる、まさに現在の実践的課題に関わる論文が多く収められている。これらの諸論は、「はしがき」にあるとおり、「戦争で不条理に殺されていった無数の人々の無念の思いに背中を押されて、つづられた」作業である。机上において、秋の夜長にじっくりと読んでほしい一書である。(慈学社出版、定価1万円+税)(Y・Y)

基地ツアー(神奈川編)に参加して

道場親信

JR相模原駅で集合した基地ツアー(神奈川編)の一日は、同駅所属の駐車場ビル(6階建て)の屋上から米軍相模補給廠を一望することから始まった。それほど降る雨の中、私たちを乗せたマイクロバスは、引き続きいてキャンプ淵野辺跡、キャンプ座間、厚木航空基地、そして上瀬谷通信基地、横須賀軍港と、神奈川を南北に縦断していった。個人ではなかなか回ることのできないコースだが、自動車でも、しかも解説付きで見学することができる。基地周囲の街と基地との位置関係もある程度体感できた。沢田政司さん(相模補給廠監視団)、小牧みどりさん(相模補給廠の返還を求める市民の会)、木元茂夫さん(すべての基地にNOを!フアイト神奈川)からは、相模原市・座間市での取り組みや基地の歴史、神奈川県での米軍再編への反対運動の状況について詳しい解説をしていただくとともに、新倉裕史さん(非核市民運動宣言運動・ヨコスカ/ヨコスカ平和船団)からは横須賀市でいま進められている原子力空母横須賀配備に対する住民投票運動についてお話しいただいた。多くのことを学んだ一日だった。

(みちば・ちかのぶ本会会員)